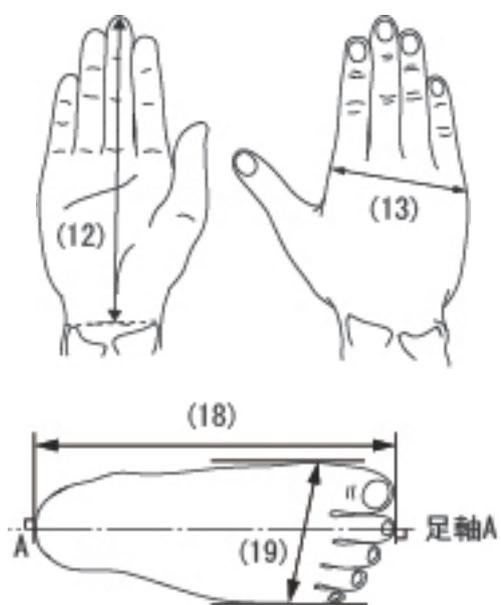
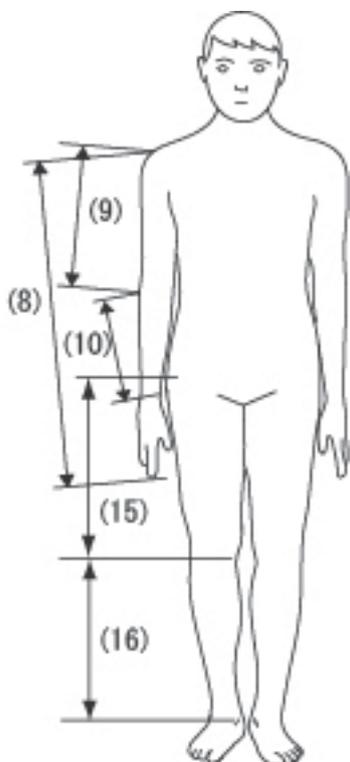
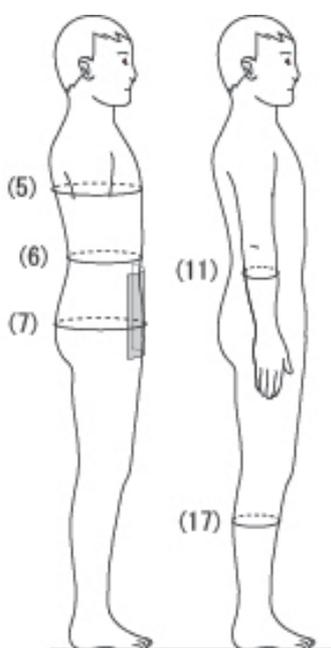
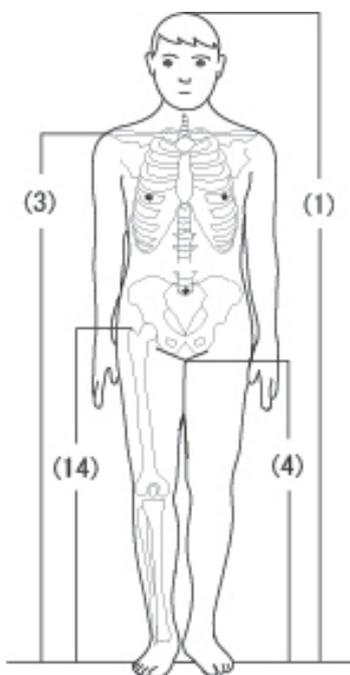


●計測項目図



●計測定義・計測姿勢・計測器具

※ 下線は形態学的特徴点（ランドマーク）を示す。

計測項目		計測定義（単位）	計測姿勢	計測器具
(1)	文部省式身長	床面から頭部最高点までの鉛直距離（mm）	立位 ^{※1}	スタジオメータ
(2)	体重	裸体又はそれに近い状態での、身体の重量（kg）	—	体重計
(3)	肩峰高	床面から <u>肩峰点</u> までの鉛直距離（mm）	立位	アントロポメータ
(4)	股下高	床面から恥骨下枝遠位端までの鉛直距離（mm）	立位	アントロポメータ、補助板 ^{※4}
(5)	乳頭位胸囲	<u>乳頭点</u> の高さにおける体幹の水平周長（mm）	立位	巻尺
(6)	胴囲（水平ウエスト囲）	<u>ウエスト基点</u> の高さにおける体幹の水平周長（mm）	立位	巻尺
(7)	臀囲（補助板あり）	<u>腹部前突点</u> に（床面に対し垂直に）補助板を当てたときの、 <u>臀部後突点</u> の高さにおける体幹の水平周長（mm）	立位	巻尺、補助板
(8)	上肢長	<u>肩峰点</u> から <u>指尖点</u> までの直線距離（mm）	立位	桿状計
(9)	上腕長	<u>肩峰点</u> から <u>橈骨点</u> までの直線距離（mm）	立位	桿状計
(10)	前腕長	<u>橈骨点</u> から <u>橈骨茎突点</u> までの直線距離（mm）	立位	桿状計
(11)	前腕最大囲	前腕の長軸に直交するよう測った前腕の最大周長（mm）	立位	巻尺
(12)	手長	手掌面で、手首の中心点〔 <u>橈骨茎突点</u> と <u>尺骨茎突点</u> を結んだ線と手首の幅の中心線の交点〕から <u>指尖点</u> までの直線距離（mm）	手部計測 ^{※2}	滑動計
(13)	手幅	<u>橈側中手点</u> から <u>尺側中手点</u> までの直線距離（mm）	手部計測 ^{※3}	滑動計
(14)	転子高	床面から <u>転子点</u> までの鉛直距離（mm）	立位	アントロポメータ

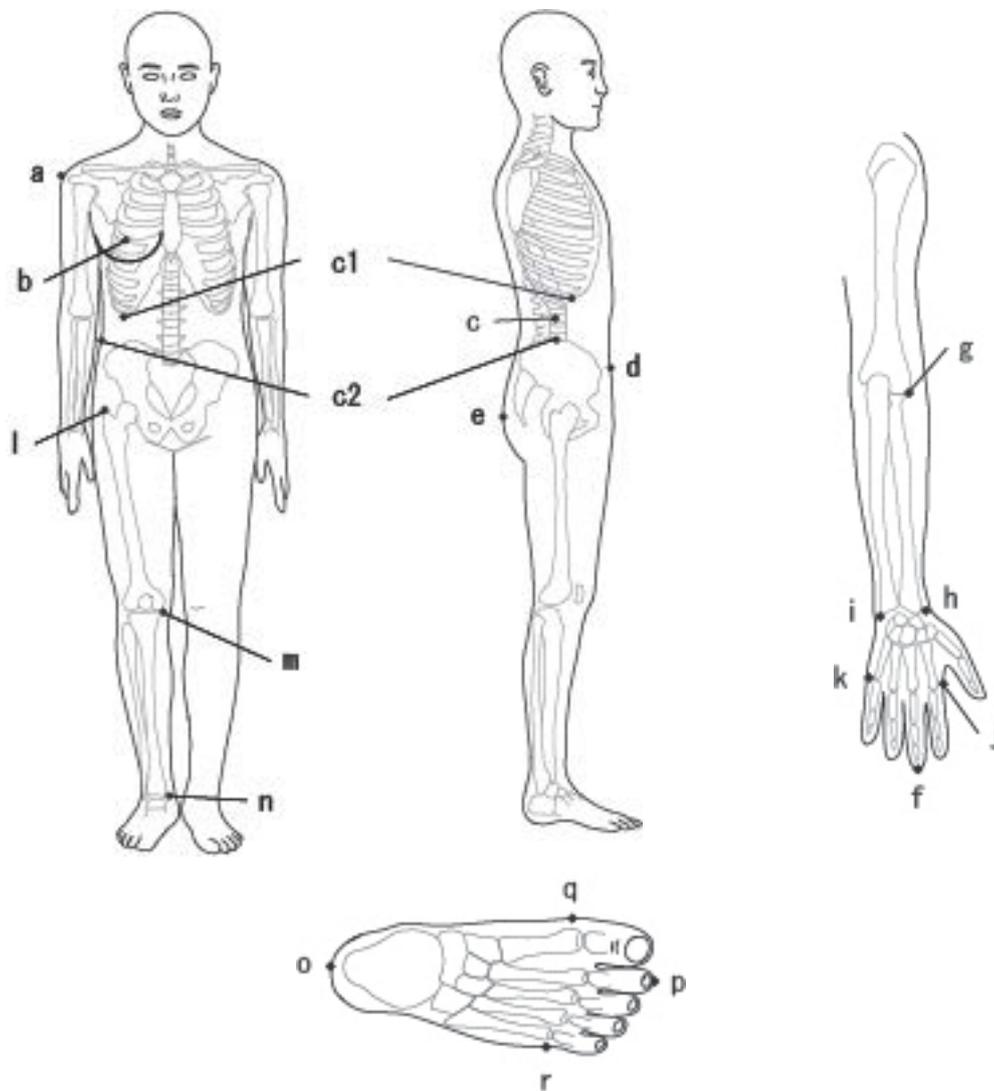
計測項目		計測定義 (単位)	計測姿勢	計測器具
(15)	大腿長	<u>転子点</u> から <u>脛骨点</u> までの鉛直距離(mm) ※ [(14)転子高－脛骨上縁高] の計算式から算出	—	—
	脛骨上縁高	床面から <u>脛骨点</u> までの鉛直距離 (mm)	立位	アントロポメータ
(16)	下腿長	<u>脛骨点</u> から <u>内果点</u> までの鉛直距離(mm) ※ [脛骨上縁高－内果端高] の計算式から算出	—	—
	内果端高	床面から <u>内果点</u> までの鉛直距離 (mm)	足部計測	ハイトゲージ (小)
(17)	下腿最大囲	下腿部の最も太い部位における脚の水平周長 (mm)	立位	巻尺
(18)	足長	<u>踵点 A</u> から <u>足尖点</u> までの足軸 A [<u>踵点 A</u> と第二指先端とを結ぶ直線] への投影距離 (mm)	足部計測	フットゲージ
(19)	足幅	<u>脛側中足点</u> から <u>腓側中足点</u> までの直線距離 (mm)	足部計測	滑動計

- ※1 立位姿勢をとり、垂直な柱に背中と臀部をつけ直立する。できるだけ背筋を伸ばす。
- ※2 手部計測姿勢をとり、手掌を上にする。
- ※3 手部計測姿勢をとり、手の甲を上にする。第二指から第五指を揃え、手を平らに伸ばし、第一指を離す。
- ※4 太股内側の皮膚と股の最上位に接するように補助板を水平に挟み、床面から補助板上縁までの鉛直距離を計測する。

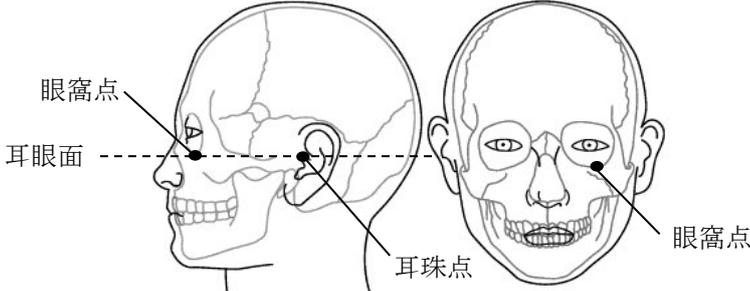
●形態学的特徴点（ランドマーク）

記号	形態学的特徴点	定義
a	肩峰点	肩甲骨の肩峰 [肩甲骨の背側面にある棚状の隆起の先端が扁平な大きな突起となっている部分] の外側縁のうち、最も外側に突き出している点
b	乳頭点	乳頭を中心点
c	ウエスト基点	体幹側面における第十肋骨最下点と腸骨稜上縁点の中間高さの点
c1	第十肋骨最下点	第十肋骨の最も下方の点
c2	腸骨稜上縁点	腸骨稜 [骨盤の上縁に沿って伸びている骨の高まり] のうち、最も上縁の点
d	腹部前突点	側方からみて最も前方に突き出している腹部の点 (みぞおちより下方)
e	臀部後突点	側方からみて最も後方に突き出している臀部の点
f	指尖点	手の第三指の先端のうち、遠位端の点 (爪を除いた指腹の端)
g	橈骨点	橈骨頭 [橈骨の近位端の円盤形の部分] のうち、外側で最も高い (近位端の) 点
h	橈骨茎突点	橈骨の茎状突起 [橈骨遠位端の先端がとがった部分] のうち、最も下方 (遠位端) の点
i	尺骨茎突点	尺骨の茎状突起 [尺骨の遠位のふくらみから細く突き出た部分] のうち、最も下方 (遠位端) の点
j	橈側中手点	第二中手骨の骨頭 [中手骨の遠位端にあるふくらんだ部分] のうち、最も橈側に突き出している点
k	尺側中手点	第五中手骨の骨頭 [中手骨の遠位端にあるふくらんだ部分] のうち、最も尺側に突き出している点
l	転子点	大腿骨の大転子 [大腿骨の上方外側にある大きな突起] のうち、最も高い (近位端の) 点
m	脛骨点	脛骨の内側顆 [脛骨の上部内側部にあるふくらんだ部分] の上縁のうち、最も高い (近位端の) 点
n	内果点	脛骨の内果 [脛骨の下端部内側のふくらみ。いわゆる、内くるぶし] のうち、最も下方 (遠位端) の点
o	踵点 A	踵骨 [かかとの骨] のうち、最も後方に突き出している点
p	足尖点	足軸への投影距離が踵点から最も遠い位置にある足指の先端の点
q	脛側中足点	第一中足骨の骨頭のうち、最も脛側に突き出している点
r	腓側中足点	第五中足骨の骨頭のうち、最も腓側に突き出している点

●形態学的特徴点（ランドマーク）部位図

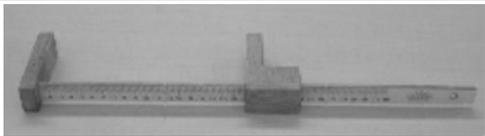


●計測姿勢

姿勢	定義
立位	<ul style="list-style-type: none"> ・頭部は正しく前方に向け、耳眼面^{※1}を水平に保つ。 ・肩は不自然に力を入れない。 ・上肢は自然に下垂し、手掌を大腿に向けて手の指は伸ばす。 ・足は左右の踵をつけて立ち、つま先を自然（約45度）に開く（踵がつかない場合は無理につけない）。 ・背筋と膝を伸ばし、両足に均等に体重をかけて立ち、左右の膝は無理につけない。 <p>※1 耳眼面：左右の耳珠点と左の眼窩点との3点で決められる面。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・耳珠点：耳珠〔耳の孔の前、外側にある突出〕の上の付け根の点。 ・眼窩点：眼窩〔眼球が入っている頭骨の穴〕の下縁のうち、瞳孔直下の点。 
手部計測	<ul style="list-style-type: none"> ・椅子に座る。 ・手部計測板に、前腕と手が平らになるよう置く。前腕の長軸と手軸（指尖点と手首の中心点とを結ぶ線）を一致させる。 ・手掌は計測項目により、上向きにする場合、下向きにする場合がある。 ・肘が浮いたり、手首が浮き上がらないようにする。
足部計測	<ul style="list-style-type: none"> ・両足に均等に体重をかけて自然に立つ。 ・左右の足軸を平行にし、足軸間の距離が約20cmになるよう開く。 ・頭部は正しく前方に向ける。

●計測器具

計測器具名	メーカー・品番・仕様	写真
スタジオメータ (身長計)	<p><seca 製/213></p> <ul style="list-style-type: none"> ・背中部に垂直な柱の付いた身長計 ・計測単位：1mm 	
体重計	<p><TANITA 製/TBF-541></p> <ul style="list-style-type: none"> ・計測単位：0.1kg 	
アントロポメータ	<p><竹井機器工業(株)製></p> <ul style="list-style-type: none"> ・高さを計測(組み立てて足台を付けて使用) ・計測単位：1mm 	
巻尺	<ul style="list-style-type: none"> ・7mm 幅 ・FIBREGLASS TAPE ・計測単位：1mm 	
桿状計	<p><GPM 製/No.113></p> <ul style="list-style-type: none"> ・2点間の距離を計測 ・計測単位：1mm 	

計測器具名	メーカー・品番・仕様	写真
滑動計	<GPM 製/No.113> ・ 2 点間の距離を計測 ・ 計測単位：1mm	
ハイトゲージ (小)	<足と靴と健康協議会製> ・ 計測単位：1mm	
フットゲージ	<足と靴と健康協議会製> ・ 計測単位：1mm	
補助板	<PLUS 製/PC214-C> ・ B4 サイズ ・ ハードタイプのカードケース	—

●計測着衣

タンクトップ+ブリーフ/ショーツ

履歴：

2017年12月 作成